

成城教育

第195号

2022年6月30日

特集 私の読書



成城学園教育研究所

「表紙」のことは

幼稚園 喜谷紗理

今回の表紙の作品は、幼稚園年中組による、粘土の動物たちです。

乾くと石膏のように固くなる紙粘土で、パーツごとに形を作り、中に工作用マッチ棒を入れて支えにしておくつけました。粘土が固まったところで、絵の具で地の色を塗り、後日体の模様や目などの細かい色付けをして仕上げました。動物は、左から順にゾウ・チーター・ネコ・ワニです。

作者にインタビューをしました。

「その動物を選んだ理由、頑張ったところ、難しかったところ、感想などが難しかった。目を大きくしたら可愛いかなと思っただの。」
ゾウ：「ゾウが好きだったからゾウにした。目玉の大きさが難しかった。目を大きくしたら可愛いかなと思っただの。」
チーター：「かわいいからチーターにした。色を塗るのが楽しかった。でも、耳とか塗るのが混ざって難しかった。」
ネコ：「かわいいからネコにした。ぺちゃぺちゃ(絵の具を)塗るのが楽しかった。(絵の具の)音が良かった。ペンキで塗っているみたいだった。綺麗ななと思ってピンクにしたの。」

ワニ：「かっこいいからワニにした。赤ちゃんも作ったよ。歯とギザギザのところが難しかった。」

可愛い動物にしたい、かっこいい動物にしたいなど様々な思いがあり、どのようにしたら自分のイメージ通りにできるかを考えそれぞれに細部まで工夫して作り上げています。集まった動物たちは、みんなで何か相談しているようにも見えます。子どもたちのこだわりの詰まった温かみのある作品になりました。

成城教育

第 195 号

©成城学園教育研究所

◆表紙：幼稚園年中組 竹岸美麓・米屋沙和・白鳥遼河・松田イロ

「表紙」のことは

喜谷紗理

□絵グラビア 学園の図書館・学園の所蔵する貴重書群

カット 下橋克則

特集 私の読書

私の読書	木村大望	5
初めて本を好きになった話『スウィングガールズ』	那須ぞうの	7
実践報告 ～理科助手としての本の活用～	笹井伸子	10
教員としての歩みと、読書という営みと	八木道雄	14
昭和の成城にタイムスリップ！	寄口康子	19
五十二年前の快挙	安井俊裕	21
出井伸之『人生の経営』	勝又あずさ	26
コロナ禍にご紹介したい二冊	森 由美	32



テーマとしての『図書』 ～この悩ましきもの～ …………… 佐藤量介 36

とりとめのない話 …………… 鷲津武史 40

《ずいひつ》

つながりがもたらすもの …………… 千光士未来 43

文人達の遺した家屋を訪ねて …………… 松田浩 47

教室の風景

先駆けとしての成城大学のデータサイエンス教育 …………… 辻智 52

連載 成城のグリーンインフラ (第七回)

雨と風と成城の町…世田谷GI研究会に参加して (二) …………… 櫻井一彦 63

新『映画で見る成城学園』 Vol. 4 高田雅彦 77

ブックレビュー

鶴見良次著 『イギリス近代の英語教科書』（開拓社 二〇二二年） 川村晶彦 84

教育研究所報

砧移転一〇〇周年と「成城学園を知る」の新しい試み 岩田一正 89

教育研究所への階段 境 新一 92

二〇二二（令和三）年度 教育研究所会議録抄 95

二〇二二（令和三）年度 教育研究所日録 103

編集後記 105